



# ONTAP クラスタの検出

## Cloud Manager

Ben Cammett, Tom Onacki  
April 08, 2021

# 目次

ONTAP クラスタの検出 .....	1
に追加されていないオンプレミスクラスタがないかどうかを確認しています Cloud Manager の略 .....	1
Active IQ ページからクラスタを検出しています .....	2
Canvas ページからクラスタを検出しています .....	4

# ONTAP クラスタの検出

Cloud Manager では、オンプレミス環境、ネットアップのプライベートストレージ構成、IBM クラウド内の ONTAP クラスタを検出できます。オンプレミスクラスタを Cloud Manager キャンバスに追加すると、Cloud Volumes ONTAP やその他のクラウドストレージソリューションと同じツールを使用して、これらのクラスタを管理できます。

これらのシステムでストレージをプロビジョニングできるだけでなく、これらのシステムを Cloud Manager に追加することで、重要なクラウドベースのサービスをこれらのクラスタに簡単に設定できます。具体的には、クラウドへのデータのレプリケート、クラウドへのデータのバックアップ、クラウドへのコールドデータの階層化、そのデータに対するコンプライアンススキャンの実行です。

必要なもの

- クラウドプロバイダまたはオンプレミスにインストールされたコネクタ。

コールドデータをクラウドに階層化する場合は、コールドデータの階層化先に基づいてコネクタの要件を確認してください。

- ["コネクタについて説明します"](#)
- ["コネクタ間の切り替え"](#)
- ["Cloud Tiering の詳細をご確認ください"](#)
- クラスタを Cloud Manager に追加するための、クラスタ管理 IP アドレスと管理者ユーザアカウントのパスワード。

Cloud Manager は、HTTPS を使用して ONTAP クラスタを検出します。カスタムファイアウォールポリシーを使用する場合は、次の要件を満たす必要があります。

- コネクタホストが、ポート 443 経由のアウトバウンド HTTPS アクセスを許可する必要があります。

コネクタがクラウドにある場合、すべてのアウトバウンド通信は事前定義されたセキュリティグループによって許可されます。

- ONTAP クラスタでは、ポート 443 を介した着信 HTTPS アクセスが許可されている必要があります。

デフォルトの「mgmt」ファイアウォールポリシーでは、すべての IP アドレスからの着信 HTTPS アクセスが許可されます。このデフォルトポリシーを変更した場合、または独自のファイアウォールポリシーを作成した場合は、HTTPS プロトコルをそのポリシーに関連付けて、Connector ホストからのアクセスを有効にする必要があります。

- Active IQ ページにアクセスするための、ネットアップサポートサイトの有効なクレデンシャルセット。方法を参照してください ["Cloud Manager にネットアップサポートサイトのアカウントを追加します"](#)。

## に追加されていないオンプレミスクラスタがないかどうかを確認しています **Cloud Manager** の略

Cloud Manager の Active IQ サービスを使用すると、サポート契約を締結しているオンプレミスの ONTAP クラスタを検出、表示、管理できます。



サポート契約が終了すると、システムが Active IQ ページから削除されます。ただし、これらのシステムは引き続きそれぞれの作業環境で管理できます。方法を参照してください  
"Active IQ デジタルアドバイザーからサポート契約を更新してください"。

#### 手順

1. Cloud Manager で、 \* Active IQ \* タブをクリックします。
2. 必要に応じて、NSS アカウントに関連付けられた Active IQ ログインを選択します。



有効なサポート契約がある ONTAP クラスタが、Cloud Manager で検出されたかどうかを示すステータスで表示されます。

3. Cloud Manager を使用して「 Undiscovered 」と表示されたクラスタを管理する場合は、 \* Discover \* をクリックし、プロンプトに従って追加します。

## Active IQ ページからクラスタを検出しています

ONTAP クラスタを検出し、それらを作業環境に追加するには、Active IQ のページを使用します。

#### 手順

1. [\* Active IQ \* (クラスタインベントリ) ] ページで、[\* クラスタインベントリ \* ] タブをクリックします。

Cluster Inventory (42)					Licenses (30)	Firmware Updates (7)	Cloud Ready Workloads (1375)
Cluster Name	Cluster Status	OS Version	IP Address				
durlabdu01	Discovered	9.8RC1	10.10.10.10				
durbku99	Undiscovered	9.8	10.10.10.10	Discover			
blrcclu02	Undiscovered	9.7P7	10.10.10.10	Discover			

- Cloud Manager で管理するクラスタの \* Discover \* をクリックします。
- \_Choose a Location\_page \* On-Premises ONTAP \* が事前を選択されているので、 \* Continue \* をクリックします。
- ONTAP クラスタの詳細ページで、管理者ユーザアカウントのパスワードを入力し、 \* 追加 \* をクリックします。

## ONTAP Cluster Details

Provide a few details about your ONTAP cluster so Cloud Manager can discover it.

Cluster Management IP Address

User Name

Password

クラスタ管理 IP アドレスは、Active IQ の情報に基づいて設定されます。

- [Details & Credentials] ページで、クラスタ名が Working Environment Name として追加されるので、 [\* Go] をクリックします。

Cloud Manager はクラスタを検出し、作業環境名としてクラスタ名を使用してキャンバスの作業環境に追加します。



右側のパネルでこのクラスタのサービスを有効にして、クラスタとの間でデータをレプリケートしたり、クラウドへのデータ階層化を設定したり、ボリュームをクラウドにバックアップしたり、ボリュームでコンプライアンススキャンを実行したりできます。新しいボリュームを作成したり、System Manager を起動して高度なタスクを実行することもできます。

## Canvas ページからクラスタを検出しています

ONTAP クラスタを検出し、キャンバスページから作業環境に追加できます。以下の手順は、クラスタにサポート契約がないために Active IQ ページにクラスタが表示されない場合に使用できます。

### 手順

1. キャンバスページで、\* 作業環境の追加 \* をクリックし、\* オンプレミス ONTAP \* を選択します。
2. プロンプトが表示されたら、コネクタを作成します。

詳細については、上記のリンクを参照してください。

3. ONTAP クラスタの詳細ページで、クラスタ管理 IP アドレスと admin ユーザアカウントのパスワードを入力し、\* 追加をクリックします。

### ONTAP Cluster Details

Provide a few details about your ONTAP cluster so Cloud Manager can discover it.

Cluster Management IP Address

170.10.15.32

User Name

admin

Password

.....

Add

4. [Details & Credentials] ページで、作業環境の名前と概要を入力し、[\* Go\*] をクリックします。

Cloud Manager によってクラスタが検出され、キャンバスの作業環境に追加されます。

右側のパネルでこのクラスタのサービスを有効にして、クラスタとの間でデータをレプリケートしたり、クラウドへのデータ階層化を設定したり、ボリュームをクラウドにバックアップしたり、ボリュームでコンプライアンススキャンを実行したりできます。新しいボリュームを作成したり、System Manager を起動して高度なタスクを実行することもできます。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.